平成28年度 第1～6年 音楽科 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した工夫と課題	課題を受けた今後の改善策
1・2年	<p>【課題】 ☆互いの歌声や伴奏を聴き、正しい音程で歌ったり、思いをもって楽器を演奏したりできる力を育てたい。 ・自分の歌声に気を付けて歌ったり、感じ取った楽曲の気分をもとに演奏したりできるようにする。</p> <p>【工夫】 ☆教材の開発と工夫 リズムリレー、歌のフレーズのリレーなど、短くポイントを絞った課題を提示するようにした。 ☆補助資料の活用 音の高さ、鍵盤など、視覚的にわかりやすい教具を使い、指導し、技能でのつまずきを減らすようにした。</p>	<p>☆補助資料の活用 ・音程や指使いを正しく認識するために、鍵盤の学習では、より視覚的にわかりやすい教材を用意する。 ・範唱CDと一緒に歌ったり、伴奏を録音して机間指導をしたりしながら歌わせ、正しい音程を意識して歌えるようにする。 ・楽曲の気分に合った絵や写真、視覚教材による音や映像を利用する。</p> <p>☆相互の学び合いと手立て ・互いの良さを学び、ともに高めあえるように、教え合う活動を取り入れる。</p>
3・4年	<p>【課題】 ☆互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴き、進んで歌ったり、音色に気を付けて旋律楽器や打楽器を演奏したりできる力を育てたい。 ・互いの声を聴き合って音を重ねた活動を楽しみ、適切な楽器の演奏の仕方に気付くようにする。</p> <p>【工夫】 ☆補助教材の活用 ・リコーダーでは、正しい指使いを身に付けさせるために視覚的に分かりやすい教具やワークシートを使用し、正しい指使いを身に付けられるようにした。 ・ワークシートなどを用い、課題に対する自分の取り組みを把握し、ペア学習や、一人一人が短いフレーズを歌ったり演奏したりする時間を取り入れた。</p>	<p>☆相互の学び合いと手立て ・グループ練習では、集中して取り組ませるために、グループの人数の調整・児童同士の間関係にも配慮する。音が交じってしまったり練習の妨げになることを避けるために、活動場所は、音楽室だけでなく、担任の協力を仰ぎ、教室なども使って行うようにする。</p> <p>☆補助資料の活用 ・歌のペアやグループでの学習では、正しい音程が取れるように、CDに録音した教材を使ったり、鍵盤などで音を取ったりしながら練習に取り組むようにする。</p>
5・6年	<p>【課題】 ☆呼吸や発声の仕方を工夫して、自然で無理のない歌い方で歌ったり、思いや意図をもって歌ったりする力を育てたい。 ・表現に対する自分の思いや願いをもって歌ったり、表現への意欲をもって歌ったりできるようにする。</p> <p>【工夫】 ☆相互の学び合いと手立て ・自信をもって歌うことができるように丁寧に繰り返し部分練習をするようにした。一斉に歌う、グループで歌う、数人で歌うなどしていく中で、少しずつ声を出すことに抵抗がないようにすすめた。</p>	<p>☆教材の開発と工夫 ・自信をもって歌ったり、自分の声のよさを見つけるために、短いフレーズでの発声練習を行ったりすることで、よりよい歌声になっていくことに気付けるようにする。 ・長い楽曲の場合には、1時間の中でポイントを絞り、集中して練習に取り組めるようにする。</p> <p>☆相互の学び合いと工夫 ・自分の取り組みについて、ワークシートを使い、時にはペア活動で聴きあいをしたり、振り返りをしたりすることで、自分自身の課題に気づき、次時への課題をもてるようにする。</p> <p>☆相互の学び合いと手立て ・器楽では個人差に配慮し、個人に応じた楽譜や課題を用意したり、個別指導をしたりする。</p>
<p>今年度の成果と課題</p> <p>【成果】</p> <p>【課題】</p>		